



投資環境

2026年5月8日

紛争終結への期待から株価は大きく上昇

回 中東の紛争終結期待や好決算を受けて、日経平均は急上昇

連休明けの5月7日の東京市場では、日経平均株価が前日比3,000円を超える急上昇を見せ、史上最高値を更新しました(図表1)。6日にトランプ大統領が、米公共放送PBSのインタビューで、14～15日に予定する米中首脳会談の前にイランとの戦闘終結に合意する可能性があると言ったことなどを受けて、紛争終結への期待が高まったことが好感されたとみられます。

加えて、米半導体大手AMDや英半導体設計大手アームが好決算を発表したことも株価の押し上げ要因となりました。1～3月期の純利益は、AMDが前年同期比95%増、アームが同49%増を記録したほか、両社ともに人工知能(AI)の普及を背景に今後の業績についても強気の見通しを示したことで、株価は急騰しました(図表2、3)。これを受け、国内市場でも半導体大手のアドバンテストや、アームを傘下を持つソフトバンクグループなどに買いが波及し、これらの銘柄の株価が大きく上昇しました(図表4、5)。

他方、TOPIXの上昇幅は小幅にとどまっており、2月下旬に記録した最高値更新には至っていません(図表6)。日経平均株価は指数に占める半導体関連株の比率が高い一方、TOPIXは上値の重い動きが続く三菱UFJフィナンシャル・グループやトヨタ自動車などの比率が相対的に高いためです(図表7、8)。

図表1. 日経平均株価



図表2. AMDの株価



図表3. アームの株価





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

図表4. アドバンテストの株価



図表5. ソフトバンクグループの株価



図表6. TOPIX



図表7. 三菱UFJFGの株価



図表8. トヨタ自動車の株価



▣ 日経平均株価の割高感は強まり調整の余地、他方、出遅れ銘柄は上昇も

最近の株価上昇を受けて、株価の割高、割安感を示す株価収益率（P E R、株価 ÷ 1株あたりの純利益）は、20倍台に達しています。これは、近年では最高水準であり、日経平均株価の割高感は強まっています(図表9)。そのため、今後は利益確定売りに押され、上値の重い展開となる可能性があります。足元の株式市場の好調は「中東紛争の終結」や「A I普及による半導体需要の拡大」という期待感に支えられています。しかし、これらの期待が剥落した場合には、一転して調整色が強まる恐れがあり、警戒が必要です。特に日経平均株価の最近の上昇は一部のA I・半導体関連銘柄に依存しており、これらの銘柄が調整局面に入ると、指数全体の下げ幅が大きくなるリスクがあります。



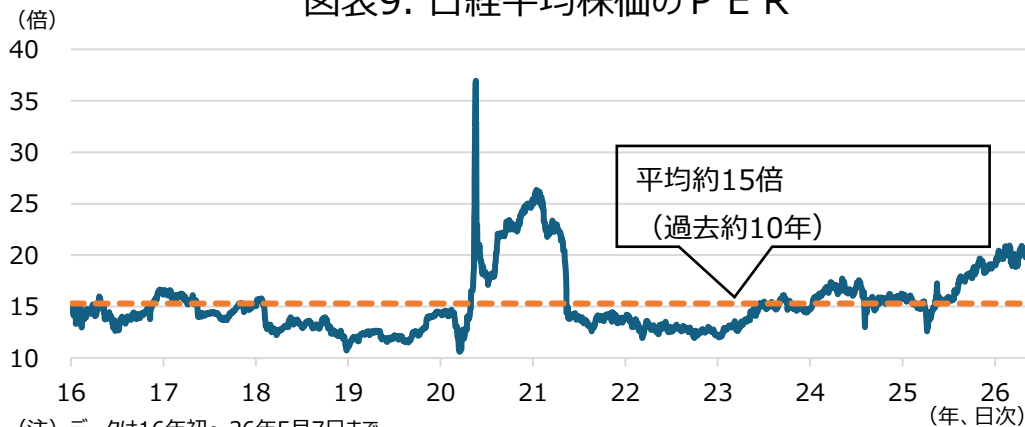
しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号

Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会

〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www. skam. co. jp](https://www.skam.co.jp)

他方、上述した自動車関連株や銀行株などの出遅れ銘柄は、値ごろ感から資金が流入し、上昇する展開も想定されます。今後予定されている決算発表が好調な内容になると大きく上昇する可能性もあります。TOPIX はこれらの銘柄の構成割合が相対的に高いため、出遅れ銘柄が相場を下支えし、底堅い動きとなる可能性もあります。

図表9. 日経平均株価の P E R



(注) データは16年初～26年5月7日まで

(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号

Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会

〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www. skam. co. jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。